

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
独立行政法人国立病院機構 名古屋東区梅森坂五丁目101番 リハビリテーション学院	昭和54年4月4日	野浪 敏明	〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂五丁目101番 (電話) 052-801-1157				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
独立行政法人 国立病院機構	平成16年4月1日	桐野 高明	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2丁目5番地21号 (電話) 03-5712-5050				
目的	理学療法士又は作業療法士として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る人材を育成する						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	理学療法学科	平成6年文部大臣 告示第84号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3375	1095	90	2190	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	55人	6人	98人	104人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1学期: 4月1日～9月30日</li> <li>■2学期: 10月1日～3月31日</li> </ul>		成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表: 有</li> <li>■成績評価の基準・方法 単位制: 優(E)良(G)可(P)不可(F) 詳細は学則第18条参照</li> </ul>			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め:</li> <li>■夏季: 6週間</li> <li>■冬季: 2週間</li> <li>■学年末: 2週間</li> </ul>		卒業・進級条件	単位制のため進級条件はなし。卒業条件は学則17条に定める授業科目の単位修得の認定を受けた者			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制: 有</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 欠席理由により担任及び教育主事による個別指導</li> </ul>		課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 ボランティア活動</li> <li>■サークル活動: 有</li> </ul>			
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界等 独立行政法人国立病院機構施設、病院</li> <li>■就職率<sup>※1</sup>: 89.5%</li> <li>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>: 89.5%</li> <li>■その他</li> </ul>		主な資格・検定等	理学療法士国家試験受験資格 専門士(医療専門士)の称号 大学への編入資格			
(平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)							
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 3名</li> <li>平成26年4月1日 在学者 57名 (平成26年4月1日 入学者を含む)</li> <li>平成27年3月31日 在学者 54名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■中退率 5.3%</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学の主な理由 進路変更のため</li> <li>■中退防止のための取組 担任及び教育主事による個別指導および学生保護者との面談</li> </ul>							
ホームページ	URL: <a href="http://www.gakuin.tomei-nho.jp/">http://www.gakuin.tomei-nho.jp/</a>						

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

指定規則に則り、当学院の理念から教育課程が編成されている。社会情勢の変化に対応し、より実践的かつ専門的な教育課程を編成すべく、教員会議において検討を重ねるとともに、教育課程編成委員会において、福祉施設・教育機関・職能団体・病院等に所属する委員と意見交換を行い、教育内容や教育方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年8月24日現在

名 前	所 属
長屋 政博	介護老人保健施設ルミナス大府 施設長
米澤 久幸	中部大学生命健康科学部 教授
稲垣 毅	愛知県作業療法士会会長／JA愛知厚生連海南病院
渡邊 潤子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 理学療法士長
山内 邦夫	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 作業療法士長
井上 和哉	独立行政法人国立病院機構 東尾張病院 作業療法士長
服部 みゆ	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 看護部長
大西 靖	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 理学療法士長
藤部 百代	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 作業療法士長
野浪 敏明	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 学院長
小川 賢二	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 副学院長
岩佐 和久	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 事務長
近藤 登	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育主事
輿 登貴子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育主事
棚瀬 智美	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
高瀬 三貴子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
深谷 真知子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
水野 準也	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
廣内 雅樹	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 事務主任

(開催日時)

第1回 平成26年12月22日 16:00～17:00

第2回 平成27年3月12日 15:00～16:00

第3回 平成27年9月4日 16:00～17:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

臨床実習において、理学療法士としての基本的機能を全般的に養うため評価、基本的な理学療法の実施等を経験し知識、技術をさらに深め、統合していく。加えて具体的環境にあつて専門職としてのとるべき行動・態度を養う。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習Ⅰ	総合施設と小児施設の2施設を1週間ずつ行きます。理学療法士の足がかりとなる第一歩であり、理学療法士の仕事、役割を理解することや代表的な疾患をとらえるなどを実際の病院で体験することとなる。	実習病院、実習施設
臨床実習Ⅱ	総合施設1施設を4週間にわたり行くこととなり、基礎医学、臨床医学の理学療法の基本原理についてカリキュラムを終了した後に行われ、実際の患者様に対し直接検査、測定する機会となる。様々な疑問を抱き正しい知識と技術の習得を行うとともに、社会人、医療人としての基本的姿勢を養う	実習病院、実習施設
臨床実習Ⅲ	総合施設(急性期、回復期、維持期)、一般病院(整形外科疾患～神経難病など)、小児施設など様々な施設3施設を6週間ずつ行くこととなり、学院で習得する総ての知識と技術を統合する機会でもある。実際に検査・測定、記録、統合・解釈、理学療法プログラムの立案という一連の過程を経験する。	実習病院、実習施設
地域理学療法学実習	地域リハビリテーションにかかわる理学療法士の役割について、調査研究および施設見学を通して学ぶ。	リハピネス、名古屋市厚生院、善常会リハビリテーション病院

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

国立病院機構の理念に基づき質の高い臨床研修、教育研修の推進を行うとともに、国立病院機構職員研修規程に則り、教員の授業内容・教授方法の改善並びに向上を目的とした研修を実施する。さらに教員の専門知識・技術の向上のために学会や研修会への参加を奨励する。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年8月24日現在

名前	所属
長屋 政博	介護老人保健施設ルミナス大府 施設長
米澤 久幸	中部大学生命健康科学部 教授
稲垣 毅	愛知県作業療法士会会長/ JA愛知厚生連海南病院
渡邊 潤子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 理学療法士長
山内 邦夫	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 作業療法士長
井上 和哉	独立行政法人国立病院機構 東尾張病院 作業療法士長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:URL:http://www.gakuin.tomei-nho.jp/](http://www.gakuin.tomei-nho.jp/)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:URL:http://www.gakuin.tomei-nho.jp/](http://www.gakuin.tomei-nho.jp/)

授業科目等の概要

(医療専門課程理学療法学科) 平成27年度																		
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
○			心理学	知覚、記憶、思考、感情など様々な観点から人間の心について説明する。	1前	45	2	△		○	○			○				
○			文学	知性と感性を駆使しての文学作品の読解を通じて、言語によって他者との関係を生きる人間の生の実態に触れ、その深い理解に役立てるようにする。	1後	30	1	○			○				○			
○			教育学	情報化やグローバル化がすすむ現代社会において、教育の意義や機能は絶えず変化し、問い直され続けている。本講義では、教授と学習に関する基礎的な知識を習得すると同時に、今日における「学び」とそれらの理解・支援の在り方を考え、指導者としての素地を身につけることを目標とする。	1前	30	1	○			○					○		
○			社会福祉	PT・OTの対象とする患者さん、利用者さん、ご家族の立場に立って、社会保障・社会福祉の歴史、現状、今日的課題、今後の課題を学ぶ。	3前	45	2	△			○	○				○		
○			生物学	理学療法、作業療法の各種専門科目を履習する為の生物学の基礎的内容を理解する。生物未履習者や「生物基礎」のみの履習者が専門科目を学ぶ上で内容が理解できるレベルになることを目標とする。	1前	30	1	○			○					○		
○			物理学	物理学は現代文明を支える工学や技術の基礎である。本講義では物理学の基本的な考え方を学び、医療現場で使われるさまざまな物理現象を理解する事を目指す。	1前	45	2	△			○	○					○	
○			統計学	基礎医学統計学を通して医療の場における統計学的判断とは何か、EBMとは何かを学び、将来、臨床の場における診療指針などに客観的、統計的判断力をもって臨めるような素養を身につけさせること。	2後	30	1	○				○					○	
○			英語 I	医療に携わる者として、様々な職種の医療従事者が共通して知っていなければならない知識、問題などを理解し、代表的な医療系職種の英語の基礎を学ぶ。	1前	30	1	○			○						○	



○			基礎運動学	身体運動に関わる力学および筋骨格系・感覚系の構造や機能、神経系の基礎、運動における中枢神経機構や運動学習について理解し、説明できる。	1後	30	1	○			○							
○			運動学	人が運動を行う場合の基本となる関節運動を中心にその構造と機能を理解する。解剖学・生理学・物理学・基礎運動学が基礎となっているため、それらに関連づけて理解する。各関節を解剖学的特徴、関節の安定性と機能解剖、運動の3つのカテゴリーに分け整理する。	2前	30	1	○			○							
○			人間発達学	人間の身体的、精神的な発達を考慮することは、治療にとっての重要な要素であることを念頭におきながら、発達心理学の理論を学習するとともに、それぞれの時期の人間発達の特徴について理解する。	1前	30	1	○			○							
○			病理学	疾病の成り立ちを理解する上での基礎となる病因と病変の特徴について理解する。	1後	30	1	○			○							
○			臨床心理学	心の働きがどのように現れるのか、心の問題をどのように改善していくのかについて基礎を学習する。	2前	30	1	○			○							
○			薬理学	病院で処方された薬、薬局で購入した市販薬がどのように作用して病気を克服してゆくのか、その作用機序を理解することを目的とする。	1後	30	1	○			○							
○			内科学Ⅰ	基本的な内科学的知識について学習する。内科学Ⅰでは特に心疾患・呼吸器疾患について理解を深める	2前	30	1	○			○							
○			内科学Ⅱ	臨床医学で必要な各分野の基礎的知識についてその病態と治療を中心に教授する。	2後	30	1	○			○							
○			一般臨床医学	臨床医学で必要な各分野の基礎的知識についてその病態と治療を中心に教授する。	2後	30	1	○			○							



○		職業倫理と職場管理	医療を志す者として必要とされる職業上の責務・倫理についての知識と現状を学ぶ。当院における施設概要や国立病院機構の組織概要を知ると共に各部門の業務内容	1後	30	1	○			○								
○		基礎理学療法学	理学療法の中で中心となる運動療法に焦点をあて、その基本となる項目および理論的背景について学ぶ。	1後	30	1	○			○								
○		基礎理学療法学実習	基礎理学療法学で学んだ運動療法の基礎的事項の理解を実習を通して整理し、再学習する。運動療法の基本的な方法・手技に触れる。	2前	45	1				○	○							
○		臨床運動学	実習を通して運動学で学んだ知識を確認し理解を深める。生体の発する情報をありのままに捉えること、客観的データとの関係から捉えることを経験する。また、発表等を通して自分の意見を他者に伝え、他者の意見を理解する能力を獲得する。	2後	45	1				○	○							
○		理学療法研究法	1. 理学療法分野における科学的な研究の手続きについて学ぶ。 2. 研究法的一端を経験し、考え方を学ぶ。	3前	60	2	○				○							
○		理学療法評価学Ⅰ	患者の全体像の把握・問題点の抽出および治療プログラム立案の基礎となる理学療法評価の意義・方法を学び、実施できるようにする。	2前	45	2	△			○	○							
○		理学療法評価学Ⅱ	理学療法を主な疾患・病態に対して実施する上で、必要となる検査項目を挙げ、それを実施し結果を考察して文章に表すことができる。中枢神経疾患の症例に対する理学療法評価の目的及び意義を理解し、模擬患者や患者の動画を通して評価を行うことができる。	2後	45	2	△			○	○							
○		理学療法評価学実習	患者様を対象に検査測定を適切に実施でき、PTの立場から患者様を把握し要を得た報告書の作成が出来る。また、患者様と接するにあたり、その人の立場を理解した上で適切に対応できる。	2後	45	1				○	○							
○		筋骨格系障害理学療法治療学	臨床で遭遇する代表的な疾患を中心に、その疾患の特徴、症状、治療法および理学療法について知る。	2後	45	2	△			○	○							
○		中枢神経系障害理学療法治療学	中枢神経系について、解剖学生理学の観点からその構造ならびに機能に関し理解する。また、臨床で遭遇する一般的な臨床症状について理解する。	2後	45	2	△			○	○							





○		理学療法学治療学演習Ⅱ	医学の基礎から、専門分野までの知識を再確認する。また、学術資料をまとめる技術を習得する。職業人としての意識を高め、就職に向けた準備を整える。	3前	30	1		○	○	○								
○		理学療法学治療学演習Ⅲ	脊髄損傷および整形外科疾患の理学療法について学ぶ。	3後	30	1		○	○	○								
○		生活環境論	障害者および高齢者が生活を行う上で必要となる家屋環境、地域環境について理解する。また、それに伴い環境が人に与える影響について知る	1後	30	1	○		○	○								
○		地域理学療法学	介護保険制度の概要を学習し、地域リハビリテーションにおける理学療法士の役割と多職種協働について学習する	3前	45	2	△		○	○								○
○		地域理学療法学実習	地域リハビリテーションにかかわる理学療法士の役割について、調査研究および施設見学を通して学ぶ。	3前	45	1			○	○								○ ○
○		臨床実習Ⅰ	総合施設と小児施設の2施設を1週間ずつ行きます。理学療法士の足がかりとなる第一歩であり、理学療法士の仕事、役割を理解することや代表的な疾患をとらえるなどを実際の病院で体験することとなる。	1後	90	2			○	○								○ ○
○		臨床実習Ⅱ	総合施設1施設を4週間にわたり行くこととなり、基礎医学、臨床医学の理学療法の基本原理についてカリキュラムを終了した後に行われ、実際の患者様に対し直接検査、測定する機会となる。様々な疑問を抱き正しい知識と技術の習得を行うとともに、社会人、医療人としての基本的姿勢を養う。	2後	180	4			○	○								○ ○
○		臨床実習Ⅲ	総合施設（急性期、回復期、維持期）、一般病院（整形外科疾患～神経難病など）、小児施設など様々な施設3施設を6週間ずつ行くこととなり、学院で習得する総ての知識と技術を統合する機会でもある。実際に検査・測定、記録、統合・解釈、理学療法プログラムの立案という一連の過程を経験する。	3後	810	18			○	○								○ ○
合計					63	科目		単位時間( 100 単位)										